

⑪ 公開特許公報 (A)

平4-78551

⑫ Int.Cl.⁵

B 41 J 3/41
3/01
G 06 K 1/12
5/00
7/10

識別記号

府内整理番号

⑬ 公開 平成4年(1992)3月12日

B 7131-5L
C 7131-5L
Y 8945-5L
7611-2C
7611-2C

B 41 J 3/00
3/534

F

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全3頁)

⑭ 発明の名称 バーコード印刷装置

⑮ 特願 平2-192368

⑯ 出願 平2(1990)7月20日

⑰ 発明者 藤原功典 東京都港区芝5丁目7番1号 日本電気株式会社内

⑱ 出願人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号

⑲ 代理人 弁理士 内原晋

明細書

定位置に行なう請求項2記載のバーコード印刷装置。

発明の名称

バーコード印刷装置

特許請求の範囲

1. 印刷バーコード情報を印刷する印刷装置と、

前記印刷装置により印刷されたバーコードを読み取るバーコード読み取り装置と、

読み取られたバーコード情報と前記印刷バーコード情報とを比較する比較手段と、

前記比較手段により不一致が検出されたバーコードに不良マークを付ける不良マーク付加手段とを有することを特徴とするバーコード印刷装置。

2. 前記比較手段により不一致が検出されたバーコードを再印刷する請求項1記載のバーコード印刷装置。

3. 前記再印刷を当該バーコードの次の印刷指

は
発明の詳細の説明

(産業上の利用分野)

本発明は、バーコードを印刷するバーコード印刷装置に関する。

(従来の技術)

バーコード印刷装置は、バーコードを商品ケースや台紙等に印刷する。

従来のバーコード印刷装置で印刷されるバーコードの印刷精度を検証する場合は、人間が検証装置を用いて行なっている。

(発明が解決しようとする課題)

従来、印刷精度の悪いバーコードを再印刷する場合、そのバーコード情報を再度、バーコード印刷装置に人手により入力しなければならない。

(課題を解決するための手段)

本発明によるバーコード印刷装置においては、印刷バーコード情報を印刷装置により印刷し、印

刷装置により印刷されたバーコードをバーコード読み取り装置により読み取り、バーコード読み取り装置により読み取られたバーコード情報と印刷バーコード情報を比較し、不一致が検出されたバーコードを再印刷するとともに、不良マークを印刷する。

[実施例]

次に、本発明の一実施例を示した図面を参照して説明する。

第1図を参照すると、本発明の一実施例においては、記憶装置2に記憶されている印刷バーコード情報に応じたバーコードが印刷装置3により、ロール紙4に貼り付けられている印刷用ラベル上に印刷される。印刷されたバーコードは、バーコード読み取り装置8によって印刷直後に読み取られる。読み取られたバーコード情報は、制御装置1において印刷バーコード情報と比較される。比較の結果、不一致であれば、印刷不良と判断され印刷装置3によって再印刷される。更に、印刷不良であることを示す不良マークが不良識別マー

カ9によってラベル上に印刷される。

次に、本実施例の動作について、第1図および第2図を参照して、詳細に説明する。

制御装置1は、バーコード印刷情報が記憶装置2に記憶されていることを認識し、印刷情報送信要求10を出す。記憶装置2はその要求により、印刷バーコード情報11を制御装置1から送信する。制御装置1は、印刷装置3に受信した印刷情報の印刷要求12を出す。印刷装置3は、ロール紙4上のラベルにその情報を印刷する。

バーコード印刷後、制御装置1は、ロール紙送りローラ5A、5B、5Cを駆動するロール紙送りモータ（図示せず）とインクリボン巻き取りモータ6とに、規定されているだけの回転要求13、14を出す。ロール紙送りモータとインクリボン巻き取りモータ6とは、それぞれロール紙4とインクリボン7を規定されているだけの長さだけ移動させる。移動したロール紙4に印刷されたバーコードは、制御装置1からバーコード読み取り要求15を受けたバーコード読み取り装置8

により読みされ、その情報が制御装置1に送られる。制御装置1は、印刷装置3に出した印刷要求の情報とバーコード読み取り装置8から送られてきた情報を比較する。一致した場合には上述した処理を最初から繰り返す。

第3図におけるバーコードラベルeで不良が検出されると、その情報を再度印刷するように、印刷装置3に印刷要求12を出し、ラベルeの次の印刷指定位置にラベルe'をして再印刷される。さらに、制御装置1はバーコード読み取り装置8に読まれたバーコードが印刷してあるラベルeが不良識別マーカー9の設置してある位置にきたときに不良識別マーク要求16を不良識別マーカーに出す。不良識別マーカーは制御装置1から不良識別マーク要求16を受けたらラベルeに不良識別マークを印刷する。

本実施例においては、ロール紙に貼り付けられているラベル上にバーコードを印刷し、自動的に検証を行ない、印刷精度の悪いバーコードを発見した場合、再度そのバーコードを、不良バーコー

ドラベルの次の印刷指定位置に自動的に印刷することができる。

[発明の効果]

以上説明したように、本発明においては、印刷精度の悪いバーコードを再印刷するために、人間が改めて印刷バーコード情報をバーコード印刷装置に入力する手間を無くすことができる。

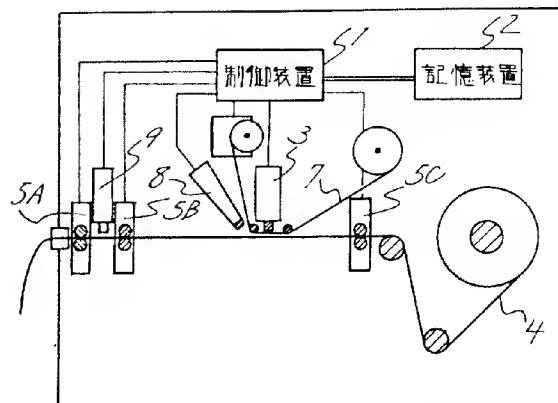
また、不良バーコードの次の印刷指定位置に再印刷を行なえば、連番のバーコードを印刷した場合、印刷対象には読み取り可能なバーコードが順番をくずすことなく並んでいるので、印刷されたバーコードラベルを取り扱う人間の手間を、すべてのバーコードラベルが正常に印刷されたときとはほとんど同等とすることができる。

図面の簡単な説明

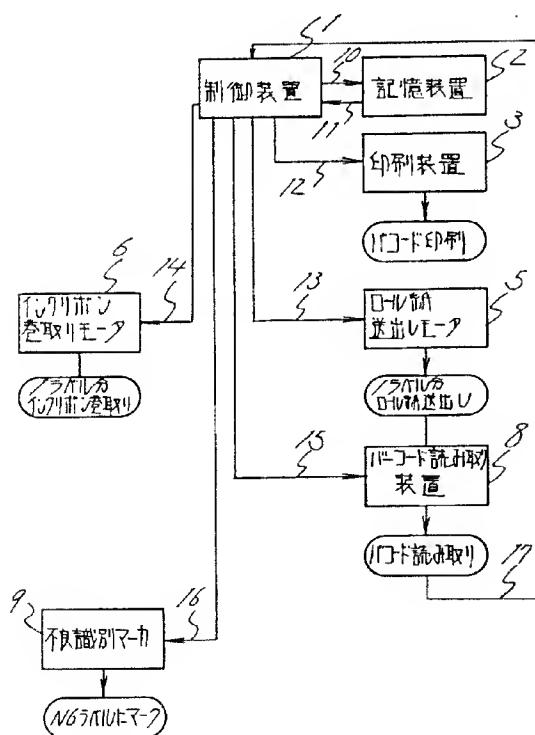
第1図は本発明の一実施例の装置構成図、第2図は本実施例における制御フローを示す図、第3図は本実施例により印刷された印刷例を示す図である。

1 … 制御装置、2 … 記憶装置、3 … 印刷装置、
 4 … ロール紙、5 A, 5 B, 5 C … ロール紙送り
 モータ、6 … インクリボン巻き取りモータ、7 …
 インクリボン、8 … バーコード読み取り装置、9 …
 不良マーク、10 … 印刷情報送信要求、11 …
 印刷バーコード情報、12 … 印刷要求、13 …
 14 … 回転要求、15 … バーコード読み取り要
 求、16 … 不良マーク要求。

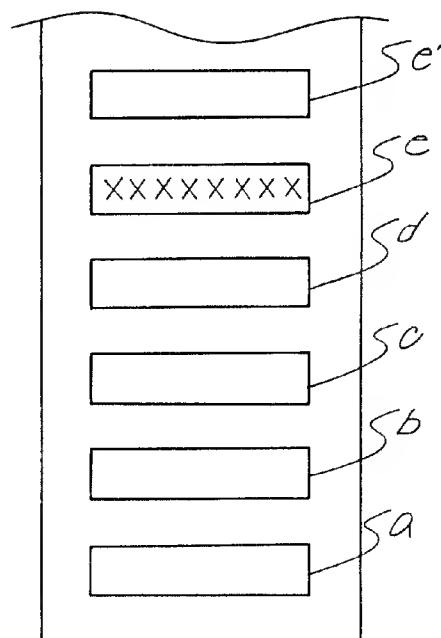
代理人 弁理士 内原晋



第 1 図



第 2 図



第 3 図